

## 平野プロジェクト 2024 :

# ユーザー中心の課題解決によるまちづくり・商店街活性化

### ■事業目的

本事業の目的は、神戸市兵庫区の平野地区をフィールドに、ユーザー（地域の方々）中心の事業構築を行う授業を実施することで、学生が他の形式の授業とは違った学びを得るとともに、こうした学びの成果を通じて地域のつながり作り、活性化をもたらし、社会課題の解決につなげることである。

### ■活動内容

事業は内田ゼミ生によるユーザー（地域課題解決の対象となる地域住民）の特定作業から開始し、現地視察やイベント参加の際にインタビューを実施するとともに、まちづくりに関する V.School カフェ、V.School サロンを開催した。その結果、8月10日には子育て中の親御さん向けカフェ「工作カフェ」を実施した。夏休みを挟んで9月には、経営学部の授業「ソーシャルビジネスプランニング」（デザイン思考を用いた社会課題解決演習）を実施した。受講生は子ども会開催のフリーマーケットの補助とインタビューを行い、解決すべき課題を明らかにしてその解決法を具体化した。同授業からは、受講生有志による授業外プロジェクト「おさんぽマッププロジェクト」が誕生し、V.School 学生プロジェクトとして継続した。その後、内田ゼミで子ども会のイベント「平野クエスト」運営補助（11月4日）を行ったあと、連携先である子ども会と KIKKAKE PLACE に向けた企画を検討し、「おさんぽマップ」チームと合わせ、すべての連携先の方々をお招きして1月28日に最終報告会を行った。

### ■事業成果と今後の展開



- ① KIKKAKE PLACE や子ども会のイベントに学生が参加・協力、地域活動の活性化に貢献
- ② V.School カフェ・サロン開催（右上写真）：大学内外に地域の好事例や専門家の知見の共有・発信
- ③ V.School サロンの内容の書籍化（内田編、根本忠宣・槻橋修著『経済と建築からみたまちづくりと価値』神戸大学出版会(2025)近刊）
- ④ 「工作カフェ」を学生が企画・実施（左写真）：

お子さんが夏休みの工作を体験する間に保護者の方々にカフェで交流していただくイベント

- ⑤ 3つの最終提案（右写真）：(1)子どもたちが地域に愛着を持つよう弁当のアイデア募集と作成を行う「ひらの弁当グランプリ」、(2) KIKKAKE PLACE の空き部屋を改装した子ども向け学習教室事業、(3) 親御さんが仲間の存在を感じ、軽い会話などにもつなげる散歩コースを示した「おさんぽマップ」

今後は、最終的に3チームが立案した企画の実現を目指し、内田ゼミならびに V.School にてサポートを続けるとともに、今回築けた平野地区の方々との関係を活かし、新たな事業における連携の可能性を探っていきたい。

